



市長 村上 浩司

愛知県

あま市



人・歴史・自然が綾なす
セーフティー共創都市“あま”

【データ】※平成31年4月1日現在

- ・人口：88,783人
- ・世帯数：36,736世帯
- ・面積：27.49km²
- ・市の花：ゆり
- ・市の木：ハナミズキ
- ・担当部署

市民生活部健康推進課

(052) 443-0005

●あま市の紹介

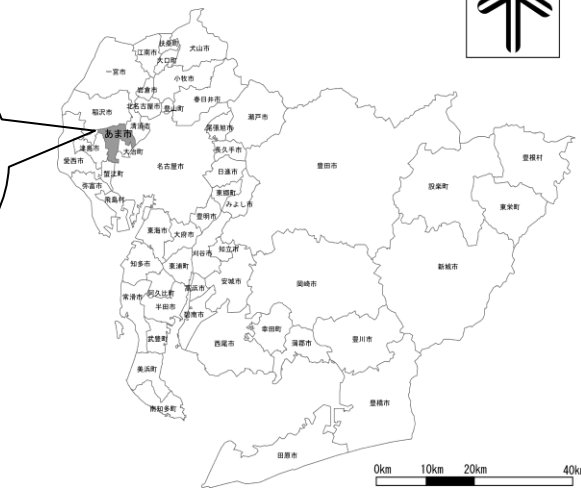
あま市は地層的には、木曾川水系や庄内川水系によって形成された沖積層が厚く、肥沃な土壌となっています。一方で軟弱な地盤のため、地震発生時の危険性が高い地域であるとも言えます。地勢は濃尾平野南東部にあり、ほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯となっています。広大な平坦地に河川・水路が広がり、田園風景など自然景観に恵まれています。

この地域の歴史は古く、市内からは弥生時代中期の遺跡も発掘されているほか、甚目寺観音（鳳凰山甚目寺）や、漬物まつり（香の物祭り）で知られる萱津神社など古くからの社寺歴史的資源を多く有し、国・県・町指定文化財が合計27件あり、蜂須賀小六、福島正則など、戦国時代に活躍した武将を数多く輩出しています。

また、市の伝統産業である「尾張七宝」（七宝焼）は、国の伝統的工芸品に指定されています。



あま市公認キャラクター
「あまえん坊」



●健康都市の取り組み

市では、まちづくりの指針として、「人・歴史・自然が綾なす セーフティー共創都市“あま”」を掲げ、『“**勇健都市あま**”未来へ動く！—今を生きる市民のため、未来を生きる若者のため—』を基本理念に政策を展開しています。

今年、「勇健な教育・健康未来都市」「勇健な安全・安心未来都市」「勇健な観光・経済未来都市」「勇健な開発・整備未来都市」「勇健な市役所の改革未来都市」の5項目を推進していきます。

●市の健康づくり

市の現状課題を見据えて、新たな視点を加え、市民の皆様の健康寿命の延伸を図るため、平成29年3月に「第2次あま市健康づくり計画・あま市歯と口腔保健計画・あま市食育推進計画」を策定し、全ての市民が自らの健康についての自覚を深め、いつまでも健康でいきいきと心豊かに暮らせるよう、健康づくりを推進しています。

施策項目を、「生活習慣の見直し～分野別・ライフステージ別の健康づくり～」、「重症化予防」、「家族、世帯を踏まえた取組の推進」の3項目に分け、現状課題を解決するための取組を進めています。

【産前産後の負担軽減のために】

妊娠中または産後間もないお母さんの育児の不安や負担を軽減するために、平成30年8月から産後ケア事業、産前産後ヘルプ事業をスタートさせました。

「産後ケア事業」は、出産後、「出産と育児の疲れから体調が良くないけれど、自宅に帰っても手伝ってくれる人がいない」など支援が必要な方が医療機関に宿泊または日帰りで滞在し、サービスを受けることにより、お母さんの身体のケアや育児サポートするものです。

「産前産後ヘルプ事業」は、妊娠中または産後間もないお母さんの育児不安や負担を軽減するため、産前または産後に体調不良等のために家事・育児を行うことが困難な世帯に支援者が自宅を訪問し、家事や育児の援助を行うものです。

事業を利用された方からは、「利用して良かった」「またこの制度を利用したい」との声をいただきました。



【自殺対策の推進】



誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現のため、平成30年3月に『市民一人ひとりが「こころ」と「いのち」を大切に、心身ともに健やかで、いきいきと笑顔で暮らせるまちづくり』を基本理念とした「あま市自殺対策計画」を策定しました。

本計画では、12の具体的な基本施策を設定し、その中でも、特に今後取り組むべき「関係機関等との連携・ネットワークの強化」を始めとする5項目を「重点項目」として数値目標を掲げ、積極的に推進しています。

また、自殺対策の推進には、行政だけでなく、地域全体で取り組むことが必要不可欠であるため、平成30年8月に、行政・関係機関・民間団体等で構成する「あま市自殺対策ネットワーク協議会」を開催し、うつ病のスクリーニングや自殺原因について等の意見交換を行いました。このネットワーク協議会は定期的に開催しており、これにより、関係機関等と情報の共有・連携をより深めています。